■鈴木春信 浮世絵師。多色刷木版画錦絵を誕生させて浮世絵の飛躍的發展を導びくも、早世した。

すずきはるのぶ

・・・・・・・・1725= 生。

江戸神田白壁町(一説に両国米沢町)に居住し、

享保大飢饉・1732= 7歳 :

・・・・・・・・1734= 9歳 :

奥村政信や鳥居清満、それに京都の西川祐信らの作風を学んで成長。

・・・・・・・・1743=18歳 :

徳川吉宗隠居1745=20歳 :

徳川吉宗没・1751=26歳 : この年から9年間の紅摺絵期には役者絵や古典志向の歌仙絵、武者絵などの作品も目立つ。

・・・・・・・・1752=27歳 :

大岡忠光没・1760=35歳 : *以降、独自の繊細優美な美人画風を形成、注目を集めるようになる。

・・・・・・・・1761=36歳 :

蘭銭初輸入・1765=40歳 : *江戸で流行した絵暦交換会ではめざましい活躍ぶりをみせ、好事家や彫師、摺師の技術者と協力して、多色摺木版画錦絵の誕生に主導的な役割を果たす。木版による色彩表現の豊かさを開発して、一躍浮世絵界随一の人気絵師となり、5年間に700点以上の錦絵作品を発表する精力的な活躍ぶりをみせて、

・・・・・・・・1770=45歳 : 没した。